

## 式　　辞

2024年（令和6年）10月期生の皆さん、入学おめでとうございます。

私たち教職員一同は、学生の皆さんの門出を心待ちにしてきました。

先だって、私とスタッフで皆さんの国々と日本語学校を見学に行ってきました。ミャンマーでは、主にヤンゴン市に滞在しました。訪問した日本語学校では、熱心にして素朴に勉強する学生の姿に心動かされました。また、世界規模を誇る仏教の聖地シュエダゴンパゴダの大きさと美しさに圧倒されました。まさに、「祈りの国」という表現にふさわしいミャンマー共和国でした。地産のモヒンガー、タミンジョーといった料理を楽しみました。

ネパールでは、カトマンズを中心に滞在しました。バクタブルの日本語学校では、日本の着物を綺麗に着つけた学生さんたちの歓迎を受け、とても感動しました。パタンの旧王宮博物館では価値ある国宝を沢山見ることができました。また、エベレストの凜とした背景と人々の暮らしのコントラストが見事で、ネパール共和国が「神々の国」であることを実感しました。ダルバート、モモなどをご馳走になりました。

今回、縁あって、両国から皆さんを受入れることができた慶びは、私にとって訪問の経験の分だけ大きなものとなっています。

さて、私自身も30年以上前に、英国ロンドンへ留学の機会があり、その経験から、日本にいるときには思いもしなかった仕事に関わる機会が巡ってきました。オセアニア諸国と日本をつなぐ学生派遣プログラムで、マレーシア教育省や現地の学校と「多文化共生社会」について研究することができました。また、東京国際交流館（TOKYO INTERNATIONAL EXCHANGE CENTER）で、およそ700名の海外からの留学生の生活を支援することができました。すべては、国外で英語を学んだ経験から始まったことでした。

皆さんとのインタビューテストから、10年くらいの視点で日本でのキャリア形成を描いていた様子が伺えました。フマニタス日本語学校で学ぶ「日本語」が、あなたの夢と希望へのパスポートになります。私たち教職員は最大限のサポートをしてまいります。お互いに助け合い協力しながら、それぞれの夢を実現させて行きましょう。

2024年（令和6年）10月9日

フマニタス日本語学校 校長 岩田 学